

2011. 3. 30 (水) 災害対策本部打ち合わせ

10時～ 3キャンパス打ち合わせ（TV会議システム）

(進行：総務部長)

1. 報告事項

1. 学生部

- ・学生安否確認

1. 死 亡 者：3名 (個人情報により削除)

2. 行方不明者：2名（個人情報により削除）

- ・29日現在、19名の学生が未確認。なお、今朝2名の確認がとれたため、残りの安否確認は17名である。現在、学生部で確認作業中だが、残り17名の名前をホームページに掲載し、情報を収集したいと考えている。

2. 施設部

- ・昨日から総合研究棟4～6階の危険箇所の撤去作業を進めており、本日5～6階の作業を行う。
- ・本日、多賀城キャンパスで、工学基礎教育センター及び体育館に復旧作業のための足場を設置する予定。
- ・泉キャンパス2号館は、来週はじめてから復旧作業に入る予定。

3. 情報システム部

- ・ 現在、泉サーバールームの湿度は安定しており、もうしばらく様子を見ることとする。

4. 学長室

- ・昨日ボランティア・ステーションを設置し、これまで 30 名弱の学生が登録した。また、6 ～ 7 名の教員が参加している。
- ・学生会が独自に石巻ボランティアセンターのもとで活動していたが、あらためて同センターに学生 5 名、教員 3 名を派遣した。
- ・施設課と協力し、大学所有のバス等を緊急車両に準じた取り扱いを行えるように社会福祉協議会と協議をしている。これにより交通費等の問題は対応できるものと思われる。
- ・多賀城市からの要請も別途対応している。
- ・活動する人員への食料などの手配について、高木^{法学部長（大学生協理事長）}から生協に協力していただきたい。

→協力は可能である。人員、必要な数は今後詰めていく。

- ・ボランティアの要請は、原則としてすべて受け入れるという方針で考えていただきたい。問題が生じたときはその都度対処していきたい。

- ・学長：必要な経費は、学長裁量経費で賄える。両副学長、財務部等と検討していきたい。
- ・バスなど交通手段の確保及び、バスの運転手を出してほしい要望があり、大学として人員を配置していけるような可能性を検討していただきたい。
→バスの運転手を配置する場合は、各課で打ち合わせしながら、負担が集中しないようにしたい。

(学生部長)

- ・ボランティア活動中は、基本的に同行している教員が当該学生の安全を確認する。
- ・大学の保険は適用可能である。
- ・大学として活動するので、地域へのアピールとして大学の作業着（制服）などを出してもよい。

5. 情報システム部

- ・8号館3階教員控室をボランティア・ステーションの事務室にしているが、事務室のネットワーク体系を教育系から事務系への変更を了承願いたい。
(災害対策本部了承)

6. 広報部

- ・広報課の事務室について、早急に対応してもらいたい・
- ・災害復興にばかり目が向いているが、この機会に改革を行ったり、課題を整理したりすることも考えていただきたい。

7. 入試部

- ・入学手続きが完了した者は、2,972名であり、さらに36名が追加される予定である。
- ・4月1日付の人事異動について、6月から異動するということだったが、現状復帰も進んでいるため、時期を早めてもよいのではないか。

8. 就職部

- ・内定取り消し、自宅待機、入社日の延期の辞令が相当数出ている。3キャンパスにおけるそれらの数字をとりまとめて、明日の部長会で報告する。
- ・内定取り消しを受けた学生への支援も行わなければならない。去年から行っている既卒者支援を強化したい。内定取り消しを受けた学生に対する、大学としての特別措置について、明日の部長会で提案したい。

9. 財務部

- ・義援金について、平澤大学より200万円を、同窓生より20数万円をいただいた。
- ・現在、義援金受付のための口座の公表について検討も進めている

10. 学務部

- ・泉キャンパス2号館を視察した。5月の授業開始には間に合いそうだが、まだ確認が必要

な箇所はある。

- ・入学予定者から今後の予定について問い合わせがあった。入学予定者に対しては、ホームページなどでの連絡に加え、郵送によるお知らせも必要なのではないだろうか。

1 1. 総務担当副学長

- ・ボランティアの受付は、物事が流動的であるため、受け入れる判断は慎重に行ってもらいたい。本学も被災者であるということを認識して、大学ができることを確認した上で検討してほしい。

1 2. 総務担当副学長

- ・5月の第2週から授業を再開できるよう、準備を進める。その間、1年生のガイダンス、2～4年生の健康診断等の検討を行い、方針が固まり次第連絡していく

1 3. 学長

- ・学事暦について、仙台学長会議として意思統一を行うことが意見として上げられており、本日15時から具体的な協議を行う。ある程度方針が固まり次第、文部科学省に報告する予定。
- ・石巻専修大学の学長と電話で話し合いを行い、多面的な問題について、仙台学長会議として共通の要望書を文部科学省に提出してはどうか、という話をした。

1 4. 施設部

- ・5月9日から授業再開ということだが、施設関係の作業が間に合わない可能性がある。特に、泉キャンパスの地盤の問題、給排水管の確認が取れなければ難しい。施設関係の問題についても考慮していただきたい。

1 5. 多賀城キャンパス

- ・今週から、学生の入校等は規定どおり行っている。しかし、周辺地域は水道・ガスはまだ復旧していない。
- ・3月29日に泉キャンパスの調査を行った。報告書は関係者に送付する。

1 6. 泉キャンパス

- ・授業再開に向けて復旧作業を進めているが、学生の通学が課題である。泉学生係で宮城交通等の交通機関と協議を進めている。

2. 協議事項

- ・学生安否の個人名のホームページ掲載について、了承する。どの程度の情報を公表するか、両副学長と検討する。

3. その他（次回の日程等）

- ・ 災害対策本部（本館会議室）は本日限りで閉鎖し、業務を総務課に移管する。
- ・ 3 キャンパスの TV 会議は、当面の間、定時に行う。両副学長、総務部長、多賀城及び泉は各学部長、各総務部次長が出席し、必要に応じて関連部長も出席することとする。
- ・ 次回の打ち合わせの日時は、あらためて連絡する。
- ・ 31 日 10 時から部長会（学長室）を、11 時から学部長会を（本館会議室）を行う。
- ・ 各課で、課員の時間外勤務の把握、職員の被災状況を総務課長宛に報告する。